

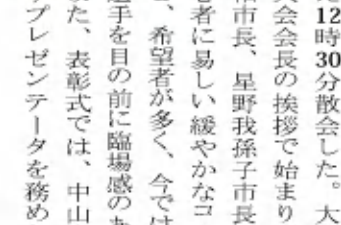
9月1日(土) 防災の日、第33回九都県市合同防災訓練・千葉県会場訓練が市川市の江戸川河川敷緑地において実施され、会長、富田副会長、事務局長、天草・金子防災担当理事及び山武東金支部(若梅支部長以下4名)が研修した。訓練は、東京湾北部を震源域とする震度6強の直下型地震が発生したとの想定で開始され、当初、住民自ら行う初期消火・応急救護訓練、その後、警察・消防・自衛隊の各防災機関及び民間のNPO法人・企業等のあらゆる組織が一体となり被害偵察、情報伝達、救出、救護及びライフライン復旧訓練を一連の流れで実施した。自衛隊からは陸海空部隊が参加し、門橋による緊急車両渡河、緊急物資海上輸送、軽装甲機動車等による偵察、倒壊家屋・河川からの救出訓練及び炊き出し・入浴訓練に従事した。本主要会場訓練の他に避難所訓練(市内小学校)、帰宅困難者対策訓練(JR等各駅)及び多数遺体取扱訓練(市内体育館)が行われた。また、会場に隣接する永井市川支部長の居住マンションを舞台に高層マンションからの消防局はしご車及び県警ヘリによる住民救出訓練が行なわれ、永井支部長は防災リーダーとして訓練の計画・実施に大活躍された。



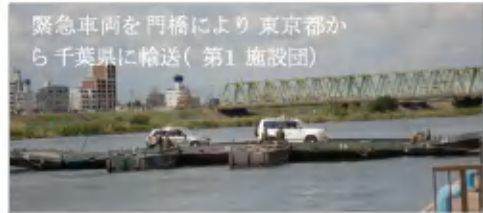
各機関一体となった救出・救護



水上からの救助(第21航空群)



緊急物資海上輸送(海自舟艇)



手賀沼トライアスロン支援

手賀沼で約500名が泳ぐ、この光景を誰が予想できたでしょうか。本イベントも、今年で7回目を迎え、手賀大橋付近の手賀沼湖畔で「水泳1500m」「自転車40km」「ランニング10km」を競った。大会は、「よみがえれ手賀沼」のスローガンのもと、8月19日(日)開催。沼南支部は、第1回大会から支援に当たっている。今回も中山支部長(大会副委員長)、満園副支部長・河西理事役(両名大会実行委員)、会員19名のボランティアが大会支援に参加。早朝、4時我孫子市役所駐車場に集合し、選手車両の専用駐車場への誘導を皮切りにバイクコースの警戒に当たり、猛暑の中、全員無事に任務を終え12時30分散会した。大会は、浜田ほづみ(県議)大会会長の挨拶で始まり森田県知事(代理)、秋山柏市長、星野我孫子市長の挨拶で盛り上がった。初心者に優しい緩やかなコースやお手ごろな参加費など、希望者が多く、今では人気の大会となっている。選手を前に臨場感のある応援ができるのも特徴。また、表彰式では、中山支部長が入賞者に賞品を渡すプレゼンターを務めた。

館山支部だより50号

館山支部は、5月、支部だより第50号特集号を発行した。以下、冒頭部分を紹介する。「館山支部機関紙「館山支部だより」は、支部内の情報発信・伝達手段、支部と会員を結ぶコミュニケーションのパイプとして平成16年以降、ささやかながら隔月発行を続けてきましたが、今月号で曲がりなりにも第50号を数えるに至りました。「50」という数は二度とはめぐってこない節目には違いありませんが、節目とは、それを契機に「何か手に付け、一歩でも進歩・前進を求めること」に意義があると認識しております。」詳しくは県隊友会ホームページにも掲載しています。

理事役会及び支部長等会議開催

防災ボランティアを募集 災害への即応体制を強化することを決定

県隊友会は、7月20日(金)、13時半から千葉県市民会館において理事役及び支部長等51名が参加して平成24年度前期理事役会及び支部長等会議を行った。山田会長挨拶の後、事務局長が平成24年度隊友会定時総会に併せ実施された県隊友会長等会議結果、就中、隊友会全体としての今後の主要施策について報告し、引き続き天草理事役が「24年度防災施策推進要領」について説明、その内容を審議した。この中で県の防災ボランティア体制強化のため平時から県本部の防災プロジェクトチームを編成・整備するとともに防災ボランティア要員を募集・登録し災害に即応することが承認された。引き続き土屋理事役が正会員及び特別会員の会費等納入状況について説明し、納入促進をお願いした。また、新入会員に対し会員証の交付に併せ所属支部、同支部長名、同連絡先及び同住所を記入したお知らせを配付し、支部への帰属意識を高めてもらう処置をとることとした。

県本部防災プロジェクトチームを編成。防衛セミナー及び慰霊・顕彰等の公益事業及び財務基盤充実の主要な柱とすべく収益事業を推進するとともに以下の課題について検討。

- 活動・財務に直接影響し、会運営の基盤となる会勢充実(入会者増・退会者減)のための各種施策を検討。
- 総会における現行の全正会員による議決権行使に代わる代議員制度について検討。また会費制度についても現行でよいかどうか検討。
- 県隊友会の活動基盤を強化するため県事務所の借上げ・専従員の配置を促進するよう県への助成を検討。
- 「24年度県隊友会防災施策推進要領」
- 災害情報協力員の確保。名簿未提出支部は早急に提出、支部長不在支部には直接、会員に協力を依頼。また分区との共同訓練を推進。
- 情報伝達要領の見直し。「被害なし」の報告の実施、支部長・副支部長への情報提供、分区係(理事役等)の設置、隊友会本部への報告。
- 県本部防災プロジェクトチームを編成。防衛セミナーは富田副会長、防災ボランティア登録希望者名簿を整備。登録者には個人装具(作業服・靴)を支給。

山田会長挨拶

山田会長挨拶

隊友会の収益事業

隊友会では、以下の収益事業を展開しています。本県でも隊友紙配付に併せ、各種チラシを同封しています。細部は、隊友紙、隊友会ホームページでもご覧ください。収益の一部は、各支部に還元します。

- ・自動販売機設置先紹介事業
- ・セレモアつくば
- ・JDVISAカード
- ・丸大ハム販売
- ・お買い物サイト
- ・サンゴ美水販売
- ・特産品販売
- ・自動車購入紹介
- ・隊友が作る特産品販売



事務局からの連絡事項

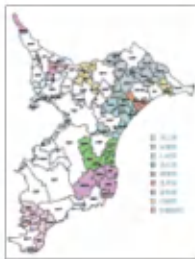
◎防災ボランティアの募集
支部長等会議開催の記事の中でも記述しています。希望者は、支部長を通して県本部に連絡を。千葉県支部会員は、直接、県本部事務局に連絡。随時受付します。平時、名簿登録しておき、災害が発生し、実際に派遣する段階で、再度、本人の意思を確認します。また、登録者には可能な範囲で作業服・作業靴を支給します。

◎隊友会防衛セミナーの開催

平成24年10月5日(金) 10時20分〜16時20分、グランドテーマ『台頭する中国とアジア・太平洋地域の安全保障』、申し込みは個人で行って下さい。細部は隊友紙8月号の第1面を参照。

◎靖国カレンダーの購入斡旋

「英霊にこたえる会」が発行する「靖国カレンダー」を隊友会で斡旋しています。カレンダーは靖国神社の四季折々の風景及び戦功著しい英霊の紹介記事等を印刷した6枚綴り(2か月1葉)で、1部500円。購入希望者は、支部長を通じて、または個人で県本部事務局にFAX又は電子メールで10月31日(水)までに申込み。電話は不可。



隊友千葉だより

【事務所 開所時間】
原則として月・水・金 1000~1500
(月・水:土屋 金:内田)

平成24年9月号 千葉県隊友会事務局

〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096
電子メール chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibataiyuu.com/

ジブチ派遣隊員慰労会

6月17日(日)習志野駐屯地食堂でソマリア沖の海賊対処のためジブチ共和国に派遣されていた第1空挺団50名の帰国慰労会が行われた。50名の隊員は、第9次派遣海賊対処行動航空隊の要員としてジブチ共和国内に設けられた固定翼哨戒機P-3C飛行場の警備・基地業務を担当していた。团长挨拶、空挺同志会会長挨拶に続き、隊友会を代表して富田副会長が慰労の挨拶をした。その後、船橋自衛隊協力会副会長の音頭で乾杯、派遣隊員代表の挨拶と続いた後、派遣の様子ビデオ放映され、歓談も熱を帯びたものとなった。特に若い派遣隊員及び不安を抱えていた御家族との話は有意義であった。約1時間の歓談の後、派遣隊員、留守部隊、御家族の苦労話などがあり、最後に今回の派遣担任部隊である特科大隊長の音頭で乾杯、散会となった。



富田副会長と派遣隊員ご家族

平成24年夏の相談役大異動

千葉県隊友会では、県下の陸海空自衛隊の部隊長等に、千葉県隊友会の『相談役』をお願いし、隊友会活動に関しご鞭撻を頂いている。本年夏7月26日付けで、かつてない5人の相談役が同時にご栄転されその後任の部隊長さん等に関係機関へのご挨拶回りや隷下部隊の初度視察などでお忙しい合間をぬって8月3日〜6日の間に理事役、支部長さん達と一緒に表敬し『相談役』へのご就任をお願いした。

海上自衛隊教育航空集団司令官「鮎田英一海将」は海上幕僚副長にご栄転になり、海自補給本部長から「小野原正信海将」が後任として着任された。小野原海将は海自下総基地にある第3術科学校長としてご勤務の折にも千葉県隊友会の相談役としてご指導ご鞭撻を頂いた。司令官は右から3人目の方で、サッカーなどを愛する文武両道の気さくな方です。

第1空挺団長「山之上哲郎陸将補」は陸上幕僚監部教育訓練部長にご栄転になり、後任には陸幕装備部装備計画課長から「前田忠男陸将補」が着任された。新団長の出身は千葉県であり、郷土での活躍を期待している。前任の団長には、千葉県災害隊長として千葉県隊友会長との間に『災害時等における隊友会の自衛隊に対する協力に関する協定』の締結や、隊友会が主催した防災セミナー『県民・市民の安心・安全のために』のパネラーとして大変なご協力を頂いた。前田団長には、一緒に就いたばかりの災害情報伝達訓練などを実施し、実りのある協定態勢の確立にご鞭撻をお願いしたい。

第1ヘリ団長「清田安志陸将補」は陸上幕僚監部監察官にご栄転になり後任に統幕防衛計画部計画課長から「田中重伸陸将補」が着任された。新任ヘリ団長も千葉県出身で、駐屯地の所在する木更津市内の県立木更津高校を卒業後、防衛大学校に進んだ。郷土部隊での活躍が期待される。

需品学校長「熊本義宏陸将補」は北海道補給処長兼ねて島松駐屯地司令にご栄転され、後任に西部方面総監部装備部長から「神原誠司陸将補」が着任された。神原学校長は松戸駐屯地司令で、松戸災害分区分長でもあり、同分区に所在する支部長ともども表敬し、いざ鎌倉の際の意思疎通を図った。表敬した役員、支部長の多くはこの需品学校卒業生であり、和気藹々の談話が続き、

空自第1補給処長「三谷直人空将補」は防衛監察本部監察官にご栄転になり、後任に統幕総務部人事教育課長から「平元和哉空将補」が着任された。空自退官自衛官の隊友会入会率が低いので、入会促進の御協力を切にお願いした。【会長 山田正二】

24年7月・8月入会者

祝入会【敬称略・順不同】

隊友会の発展にご協力を

- 【千葉花見川】和田 正幸(陸)
- 【千葉若葉】武居 義弘(陸)
- 【成田】高津 勝行(陸)
- 【茂原】出水 裕久(海)、千葉 徳次郎(陸)
- 【安房】高橋 義博(海)
- 【館山】吉田 安宏(海)
- 【木更津】依田 功(陸)
- 【船橋】松原 準一(空)



ロンドン五輪 体育学校勢大活躍



8月初旬、習志野、松戸、下志津、木更津の各駐屯地で夏祭りが開催され、会長、近傍支部長、会員多数が参加し、夏の一夜を楽しんだ。



在葉部隊の夏まつり

多くの市民で賑わう

千葉美浜支部総会開催

速水支部長退任、首藤支部長就任

美浜支部は、7月15日(日) 11時〜13時半の間、真砂コミュニティセンターにおいて、支部会員17名が参加して支部総会及び懇親会を開催した。

23年度事業報告及び24年度事業計画を審議・承認した後に、役員の交代選出を行い、平成18年度から6年間に亘って支部長を務められた速水誠一支部長は退任され、後任に首藤敏明新支部長が就任された。速水支部長は、支部講演会の開催及び新聞手配り等、支部活動を積極的に展開され、また県本部で行っている新聞折込・封入作業をお手伝い頂き、心から御礼申し上げます。速水支部長は、支部相談役に就任された。このほかの24年度美浜支部役員は以下のとおり。副支部長…布田平左衛門、監事…山縣秀雄、会計…新村幸男。その後、特別会員でもある白井正一千葉県議会議員、松坂吉則千葉市議会議員を来賓に迎え懇親会を実施した。参加者全員の近況報告等を行い盛会のうちに終了した。

船橋支部総会開催

井本支部長退任、森支部長就任

船橋支部は、8月26日(日)、11時から習志野駐屯地内隊員クラブにおいて総会及び懇親会を開催した。本総会をもって井本敏夫支部長は退任され、9月1日付をもって森 良雄新支部長が就任された。井本支部長には、予備自衛官に対する講話等運営にご協力頂き感謝申し上げます。また、21年間の長きにわたり事務局長として支部の発展に尽くされた神谷 功隊友が退任、後任に岡本 勉隊友が就任された。神谷隊友には県護国神社奉仕で度々、お世話になり感謝申し上げます。懇親会は、37名が参加し、和気藹々、賑やかに行われた。

夷隅支部 新支部長就任

県本部から夷隅支部会員に対し、空席であった夷隅支部長就任希望者を公募したところ、高橋清三隊友及び久我 司隊友の2名の応募があった。8月13日、両名と会長、事務局長及び天草理事役が大原駅前食堂において面談し、支部長・副支部長就任をお願いしたところ、支部長に高橋清三隊友、副支部長に久我 司隊友がそれぞれ就任頂くことで了承を得た。今後は、両名が音頭をとり、支部としての各種活動が活発化することが期待される。新支部長・副支部長は、早速、支部総会を近々に開催することと一致した。



田中重伸 陸将補



【夏祭りのため、ラフな格好で失礼します】



小野原正信 海将



平元和哉 空将補



神原誠司 陸将補

